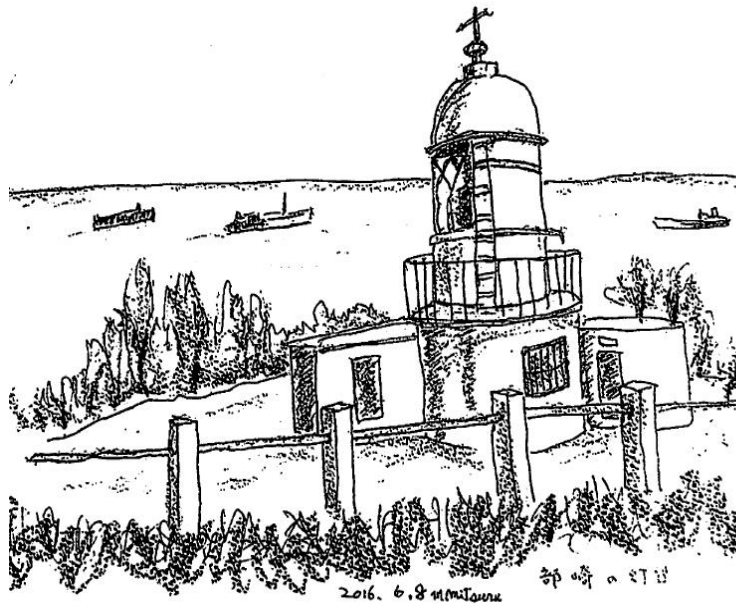


## 週報2021年3月28日



### 2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。  
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書43章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

**北九州シオン教会**

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



## 礼拝順序 2021年3月28日

ピアノ：赤松眞佐子 姉 オルガン：力丸勝子 姉

司会：大熊 強 兄 献身の祈り：利光郁子 姉 説教：山崎銀次郎牧師

開会の祈り

使徒信条・標語聖句唱和

賛美 新聖歌7「主のみいつと」

\* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！ \*

献身のお祈り

賛美 新聖歌114「血潮したたる」

賛美コーラス4「主イエスの十字架の血で」

聖書朗読 ヨハネによる福音書 13章 36-38節

説教題「光に導かれて」

応答の祈り

頌栄「主の祈り」

祝福と派遣の祈り

### 交わりの三省

\* 互いに愛し合っていますか

\* 互いに赦し合っていますか

\* 互いに祈りあっていますか

# 説教要約

## ヨハネによる福音書 13 章 36－38 節 「光りに導かれて」

### ① 導入「どこに光を見出すか？」

聖書の言葉は“光”です。私達が手探りの中、信仰生活を続けることが出来たのは、聖書の言葉に導かれたからです。しかしヨハネの福音書 13 章を見る時、弟子達はこの光を見失いそうになっています。イエス様の命を狙う人々が増える中、イエス様は世を去ると言い出し、そして突如ペテロの足を洗いだしたのです。彼らは不安の中、更に困惑しました。イエス様の言葉の真意を理解出来ませんでした。そしてユダをはじめとする弟子達はイエス様を裏切りました。“光”を銀貨や他のものに見出だして、イエス様から離れて行きました。今日、私達に対する問いかけは、「私達はどこに光を見出すか？」です。

### ② 本論「聖書の光と闇について」

イエス様はご自分の事を「世の光」と言われました。そして著者ヨハネはイエス様を「すべてを照らすまことの光」と紹介しています。この光とは「神の栄光」を指しています。そしてイエス様は“光”について言及していますが、“闇”についても言及しています。これは人間の持つ性質を指しています。聖書が言う闇とは「光を憎み、自らの行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に行かないこと」です。（ヨハネ 3 章 16 - 21）イエス様が願われる人は「真理を行う人」です。つまり、神の導きを信じ光に導かれて行く人です。

この前提を踏まえる時、今日の箇所の“ペテロの言動”と“これからの行動”が見えてきます。つまり彼はこの後（13 章 36 - 38 節）、闇に向かって歩いて行きます。一見、彼のイエス様に対する告白は勇敢で素晴らしく聞こえます。しかし実際は“自分の弱さを隠す”ために“はりぼての強さで覆った”のです。言い換えると、ペテロは神の栄光を求めるよりも、自らの賞賛を得る方を選びました。神を前にして自らの本性

が明るみに出ることを恐れ、逃走したペテロ。（ヨハネ 18 章）そしてそのような彼の中ににじみ出る、虚栄心や偽りを背負って十字架の道に向かわれたイエス様。ここに聖書の光と闇が表されています。イエス様がここから更に十字架の道に向かわれたのは、ペテロ（弟子達）の全てを受け入れ、彼がありのままを示して神に立ち返る為です。

イエス様がよみがえられた後、ユダは自らの命を絶ち、ペテロは悔い改めをイエス様に告白しました。まずユダとペテロ、両者の共通する事は自らの罪に打ちひしがれた事です。しかし、両者の決定的な違いは、イエス様に光を見出したことです。つまりよみがえられたイエス様を通じて、神の愛と赦しを見ました。彼はすべてありのままをさらけ出し、イエス様に赦しを求めました。神の栄光は信じる人の心に輝きます。そしてこの輝きこそ、どんな輝きにも勝る希望の光です。今私達は何処に光を見出すか求められています。

### ③ 結論「人生のスポットライト」

私達は人生のスポットライトを求めて生きています。比喩的な表現ですが、つまり自分という存在を認めてもらうために生きています。才能、健康、努力、経済や権力、総じて言うと自分が周囲から脚光を浴びるために求めているのです。しかしどれも瞬間的で永遠ではありません。やがて虚しくなり、衰退していく事に困惑します

私達が求めて行くものは御言葉の光、**愛**です。私達が不完全ながらも「神様に従いたい」と歩いていく道のりに神様はずっと照明を当て続けています。誰も見ていなくても、神様は見ています。そしてその人の歩みを「よくやった！」と称賛しています。ですから私達は今日も神様の愛に導かれて進んで行くことが出来ます。その時、どこかの誰かが、皆様を通じて本当の輝きを知り。本当の希望を受け取ります。大切な事は神に失望しない事です。共に主を見上げて前進して参りましょう。